

岡山県民共済生活協同組合

Okayamakenminkyosai Building

No. 03-067-2021作成

新築
事務所

発注者	岡山県民共済生活協同組合	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社 大林組 OBAYASHI CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 大林組	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

快適な執務環境・周辺環境との調和を実現する「環境装置」としてのファサードデザイン



西側外観



東側外観

概要

本建物は岡山県で共済事業を行う組織の事務所である。来客窓口・事務室・会議室といったオフィス機能のほか、多目的ホールや、職員用の食堂で構成される。敷地は岡山駅北口方面に位置し、大通りから内側に入った生活道路に面している。周囲は住宅や個人商店など様々な用途の建物が高密度に集まる生活感溢れる環境である。小規模の建物で構成される周辺スケールや景観に調和すること、狭隘な道路に面して高密度に建て込んだオフィスとして決して良好とはいえない周辺環境の中でいかに快適な執務環境を実現するか、という2点を大きなテーマと考えた。

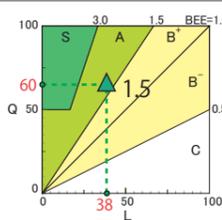
周辺環境と調和するファサード

西側のメインファサードは、機能構成上5階建となり周辺に対して比較的大きなボリュームとなるが、可能な限りセットバックすることで前面道路からの圧迫感を低減するとともに、バルコニー・庇の水平ラインを強調することで、周辺のスカイラインとの調和を図った。小さな住宅が立ち並ぶ東側は、前面道路に面したボリュームを低層に抑えることで周辺スケールと調和を図った。

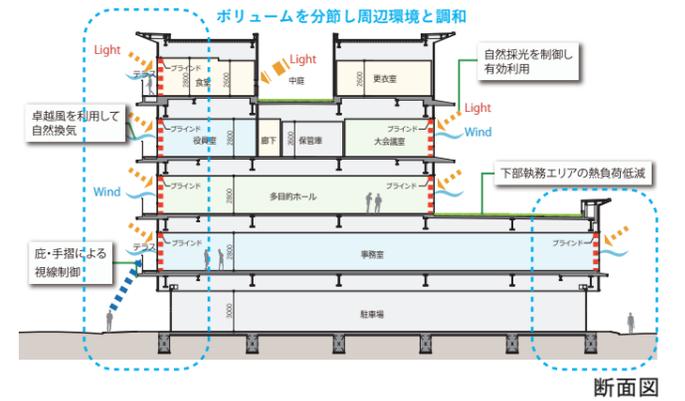


西側外観(夜景)

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	BPI (モデル建物法) 0.73 %	Aランク
竣工年	BEI (モデル建物法) 0.77 %	BEE=1.5
敷地面積		2016年度版
延床面積		自己評価
構造		
階数		



快適な執務環境を生み出す「環境装置」としてのファサード
高密度な周辺環境の中で、室内に光や風を取り入れ、前面道路からの視線を制御して快適な執務環境を構築することを目指した。具体的には、接道する東西面は外壁面を前面道路からセットバックし、光や風を取り入れられる「引き」をもった緩衝帯としてバルコニーや庇を設けた。バルコニーで構成されるファサードは、光や風を室内に導くだけでなく、細かい支柱ピッチの手すりによって、歩行者からの視線を制御することで快適な執務環境を演出する「環境装置」として機能する。開口部は、Low-E複層ガラスやブラインド、ルーバーを設置して、日射熱による熱負荷を低減する。開閉可能な窓によって中間期は自然換気を行うことができ、省エネ性能の向上に寄与している。



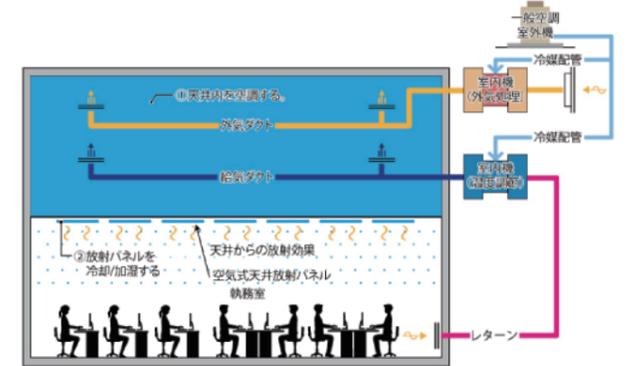
断面図

良好な温熱環境を実現する「空気式天井放射空調システム」

メインの事務室では、天井内に設置した空調機から吹き出した空気によって冷却された有孔の天井放射パネルからの放射熱で空調する「空気式放射空調システム」を採用した。気流を感じない放射空調によって、利用者にとって快適な温熱環境を水式放射空調システムに比べてローコストで実現している。システム天井内に、天井放射パネルと吸音パネル、ライン照明を組み込むことでミニマルで洗練されたデザインとし、意匠性と機能性を両立している。



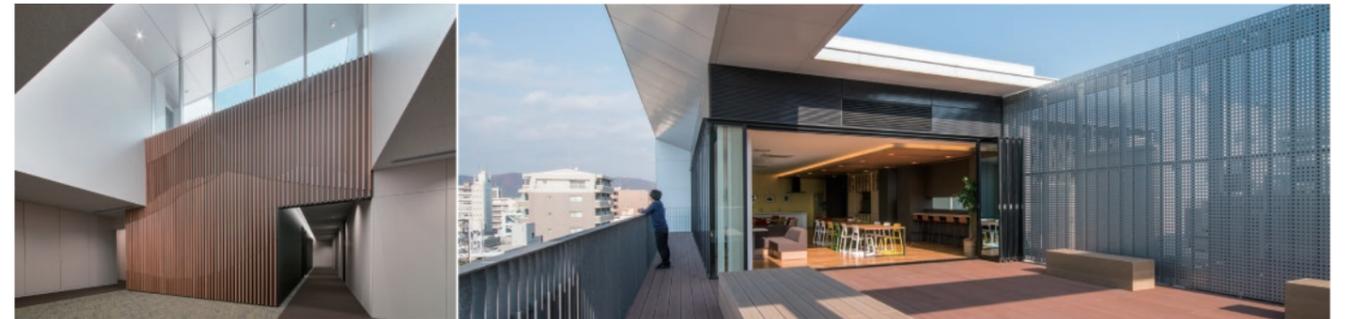
2F事務室内観



空気式天井放射空調システム概念図

「岡山らしさ」を表現したインテリアデザイン

地域に根差した組織として、随所に「岡山らしさ」を取り入れたインテリアデザインを行った。4Fロビーは、木ルーバーで蒜山の山並みを描いた「蒜山ウォール」によるおもてなしの空間とした。最上階の5Fでは、「晴れ(ハレ)の国岡山」と呼ばれる晴天率が高い気候と良好な眺望を活かした開放的な食堂兼休憩スペース「ハレカフェ」と、内外一体的に利用できる「ハレテラス」を設け、リフレッシュや会合に対応できる空間とした。



4Fロビー「蒜山ウォール」

食堂「ハレカフェ」と屋上「ハレテラス」

設計担当者

統括：丹治春一郎／建築：武井光、磯部大喜、原田迫弘司／構造：渡辺律夫、北卓也／設備：小松宏之、加藤瑛、末廣太志

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物配置や形態とのまちなみとの調和)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (Low-E複層ガラス、庇の深い外装)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (自然換気)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (空気式天井放射空調、LED照明、センサー照明)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型機器)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (方位等に配慮した配置計画)